

第3回 広島BHELP標準コース 受講生募集案内

BHELP (Basic Health Emergency Life Support for Public) とは、
「発災直後から被災地での活動を効果的・効率的に実践するために、災害対応における知識、共通の言語と原則を理解し、被災者の生命と健康の維持、災害発生直後からの被災地内での災害対応能力向上に資すること」を目的とした日本災害医学会の教育コースです。

日時：2026年7月5日（日）10:00～17:30

開催会場：広島大学霞地区医学部 医学部広仁会館 中会議室

受講対象：医療・保健・福祉に関連する専門職及び防災業務に従事する行政職員

募集人数：36名 定員に達し次第申込みを終了する場合がございます

受講料：7,000円

- ・受講料は当日会場での支払いとなります。
- ・受講決定については6/23までにメールでご案内申し上げます。
- ・受講確定後、資料送付と当日の参加のご案内をいたします

コース運営担当者：村山華子（広島大学大学院公衆衛生学）

主催：広島大学 大学院医系科学研究科公衆衛生学

【コース概要】

軸は **CSCAHHH**：**H**ealthcare Triage（ヘルスケア・トリアージ）、
Helping Hand（手を差し伸べる）
Handover（つなぐ）

1) 講義

- ・災害医療体制の概要と医療対応の原則
- ・避難所、福祉避難所の概要、体制構築および運営上の留意点
- ・避難所の環境改善に必要な情報収集のためのアセスメントシートの活用
- ・避難所生活により生じやすい健康問題とその予防法
- ・被災地域内外の支援者との連携協力

2) 演習：講義で学習した内容を活用して、以下の演習を行います。

- ・トリアージ ・保健福祉的視点によるトリアージ ・CSCAを意識した対応
- ・アセスメントシートを活用した避難所の情報収集と評価 ・避難所のレイアウト

【申込方法】

下記URLまたはQRコードからお申込み下さい。

<https://forms.gle/W9bzkehyDePh6PDF8>

※ お申込みの際はパソコン用のメールアドレスでのご登録をお願い致します。

（携帯電話のメールアドレスは不可）

30日（火）

【応募締切】2026年6月21日（日）23時59分まで

※定員に達し次第、申込みを終了します。

【受講採否】随時、ご本人のメールアドレスにご連絡致します。

【お問合せ】広島大学 大学院医系科学研究科公衆衛生学 村山華子

d251304@hiroshima-u.ad.jp

（※ 学会事務局では問い合わせに対応しておりませんのでご注意ください。）

